会派代表質疑

わが会派は 決算のここをチェック！

９月24日の本会議で、市長が提案した決算議案に対して、各会派が代表質疑を行いました。
主な質疑の要旨を発言順に掲載しています。

録画配信はこちら⇒

日本共産党 八王子市議会議員団 望月 翔平



不正を起こさない取り組みは

問　**７年度、市職員の通勤手当等の不正受給問題が明らかになったが、長期間不正を是正できなかった組織の管理体制等の課題について、どのように認識しているのか。**

答　職員個人の要因のほか、確認体制の不備等、組織的課題があったと認識している。８年３月に再発防止策を策定し、組織的な管理体制の強化等、取り組みを進めている。

公金の適正な支出を

問　**中小企業者等への電気・ガス料金高騰対策事業者支援は、委託料が交付総額の約７割となっているが、妥当な支出と判断しているのか。**

答　執行予定額の設定が不十分であったと認識している。定期監査でも、事業経費の妥当性等について指摘されており、重く受け止めている。



適切な管理体制で不正の是正へ

自民党新政会 西室 真希



夏休み中の昼食提供の評価は

問　**子どもの健やかな育ちと保護者の負担軽減・就労継続の観点から、夏休み中の学童保育所の昼食提供をどのように評価しているのか。**

答　登所した児童の約９割が利用しており、弁当づくりの負担軽減のほか、食中毒リスク等への精神的な負担軽減にも寄与し、就労継続に有効な子育て支援策と考えている。

適正な基金の管理を

問　**本市の基金残高は、多摩26市で比較してどのような水準にあるのか。**

答　７年度決算の基金残高を市民１人当たりに換算すると、約９万２千円であり、多摩26市では16番目の残高となる。基金を単体で捉えず、資産の状況や市債とのバランスに着目した財政運営に努める必要があると認識している。



昼食提供で保護者の就労継続支援を

立憲民主・市民の会 森 喜彦



共創と地域自治への見解は

問　**共創と地域自治の推進は、単なる民間活力の活用ではなく、地域で活動する市民や企業等と良好な関係を築き、市職員も学び、成長することが重要と考えるが市の見解は。**

答　７年度開設の「共創の窓口」は新たな取り組みの創出とともに、職員が成長する機会となった。引き続き、市民力・地域力に、職員力・組織力を発揮し、持続可能な地域社会実現に取り組んでいく。

職務に向き合える環境整備へ

問　**全庁ＢＰＲ※の推進で創出した人的資源をいかし、市民サービス向上と、職員が働きやすい職場環境を両立することへの考えは。**

答　各事業の業務量を注視し、適正な人員配置等に努め、市民サービス向上と、職場環境の整備を進めていく。



市民と共に地域自治の推進を

八王子市議会公明党 冨永 純子



物価高騰対策の評価は

問　**７年度に実施した物価高騰対策について、どのように評価しているのか。**

答　物価高騰の影響が長期化する中、国の交付金を活用し、都とも連携するなど、市民や事業者への幅広い対策を講じてきた。必要な支援を切れ目なく実施したことで、市民生活や地域経済の多様なニーズに応えることにつながったと評価している。

補聴器購入費助成の効果は

問　**聴力の低下は、コミュニケーション等に影響するため、適切な支援が重要と考える。７年度に開始した補聴器購入費助成の効果は。**

答　購入者へのアンケートでは、聞こえの改善の傾向が見られ、事業目的である社会参加と介護予防に一定の効果があったと認識している。



物価高騰の影響を的確に捉えた支援を

※組織横断・課・係等のあらゆるレベルの業務について、既存のやり方を可視化（把握・分析）し、効果・効率的な改善策を立案・実行する一連の取り組み